

今伝えたいことがある

5年生の部

11月3日に中央公民館で行われた第27回鞍手町「少年の主張」大会。町内の小学5・6年生、中学生の代表がそれぞれに自分の思いを主張しました。その中から最優秀賞に選ばれた3つの作品を紹介します。

主張した子どもたち(敬称略)

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 木村 百花 (室木小) | ・森を大切に |
| 堀本ちさと (新延小) | ・言葉を大切に |
| 植松 夢麻 (西川小) | ・小さな妹 |
| 國分 大誠 (剣北小) | ・悲しい戦争がなくなるために僕たちができること |
| 坂本 鈴華 (古月小) | ・命を支える仕事 |
| 仲山 莉功 (剣南小) | ・日本の伝統を守ることの大切さ |



6年生の部

主張した子どもたち(敬称略)

- | | |
|--------------------|-------------|
| ・遊びの森体験活動を通して | 嶋立 成龍 (室木小) |
| ・いじめのない世界へ | 岡松 翔紀 (新延小) |
| ・チャンスはチャレンジの時 | 水摩 力輝 (西川小) |
| ・NHK全国音楽コンクールに出場して | 御笹 蓮 (剣北小) |
| ・私の夢 | 山本 美咲 (古月小) |
| ・世界は優しさでつながっている | 鈴木 幹太 (剣南小) |



中学生の部

主張した子どもたち(敬称略)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 櫻田真里亜 (鞍手南中1年) | ・環境問題について思うこと |
| 岡本 航河 (鞍手北中1年) | ・「阿蘇は元気です！」 |
| 西 佑衣夏 (鞍手南中2年) | ・私の将来の夢 |
| 須藤みのり (鞍手北中2年) | ・「あたりまえの生活」を守るために |
| 福井 彩那 (鞍手南中3年) | ・人権について考える |
| 北島 真愛 (鞍手北中3年) | ・今あなたに伝えたいこと |



皆

さんは、日本の伝統について考えたことありますか。

お寺や神社などの建物、歌舞伎や茶道などの文化、陶器や着物などの工芸品、相撲や弓などのスポーツと、いろいろなものが考えられます。どれも、素晴らしいものばかりです。

でも、今は、外国から入ってきたものが人気になったり使われたりするようになり、日本の伝統がおろそかになっていると思いませんか。

ぼくのおじいちゃんは、畳屋です。ひいおじいちゃんの代から開業して、今年で百年目になるそうです。畳作りも長い歴史のある立派な日本の

伝統の一つです。

畳は、畳表（おもて）、畳縁（へり）、畳床（とこ）で構成されています。畳表とは、主に乾燥させた「い草の茎」で織った表面のことです。ござとも言います。畳縁とは、畳の端を、柄の鮮やかな布でおおっているところです。畳床とは、わらを圧縮して約5センチの板状にした畳の土台

となるところです。そんな畳を、おじいちゃんは、手間や時間をかけて作っているのです。いろいろな道具を使いながら、畳縁を揃えたり、わらを正確に測って切ったり、分厚い畳をぬったりする作業をしています。とても技術のいる

仕事なので、畳をうまく作るようになるためには、何年かかかるそうです。

皆さん、畳は好きですか。日本人にとって畳の部屋は、何となく落ち着き、癒される場所だと思います。畳は、今でもたくさん日本人に愛されていると思います。

◎5年生の部 最優秀賞 日本の伝統を守ることの大切さ



なかやま りく
仲山莉功さん
(剣南小学校)

※主張を終えて…発表はとても緊張したけど、最優秀賞をとれたので、すごく満足しています。

「畳を多くの人に使ってもらうために、今、古い伝統を受け継ぎながら、新しい畳作りの工夫もしているんだよ。たとえば、ダニなどの害虫を寄せ付けない畳が作られるようになってきているんだ。他にも、畳表がい草から和紙になったり、畳床がわらから発泡スチロールになったり、畳縁の柄の種類が多くなったりしているんだ。」

「畳を多くの人に使ってもらうために、今、古い伝統を受け継ぎながら、新しい畳作りの工夫もしているんだよ。たとえば、ダニなどの害虫を寄せ付けない畳が作られるようになってきているんだ。他にも、畳表がい草から和紙になったり、畳床がわらから発泡スチロールになったり、畳縁の柄の種類が多くなったりしているんだ。」

「畳を多くの人に使ってもらうために、今、古い伝統を受け継ぎながら、新しい畳作りの工夫もしているんだよ。たとえば、ダニなどの害虫を寄せ付けない畳が作られるようになってきているんだ。他にも、畳表がい草から和紙になったり、畳床がわらから発泡スチロールになったり、畳縁の柄の種類が多くなったりしているんだ。」

「畳を多くの人に使ってもらうために、今、古い伝統を受け継ぎながら、新しい畳作りの工夫もしているんだよ。たとえば、ダニなどの害虫を寄せ付けない畳が作られるようになってきているんだ。他にも、畳表がい草から和紙になったり、畳床がわらから発泡スチロールになったり、畳縁の柄の種類が多くなったりしているんだ。」

「畳を多くの人に使ってもらうために、今、古い伝統を受け継ぎながら、新しい畳作りの工夫もしているんだよ。たとえば、ダニなどの害虫を寄せ付けない畳が作られるようになってきているんだ。他にも、畳表がい草から和紙になったり、畳床がわらから発泡スチロールになったり、畳縁の柄の種類が多くなったりしているんだ。」

「畳を多くの人に使ってもらうために、今、古い伝統を受け継ぎながら、新しい畳作りの工夫もしているんだよ。たとえば、ダニなどの害虫を寄せ付けない畳が作られるようになってきているんだ。他にも、畳表がい草から和紙になったり、畳床がわらから発泡スチロールになったり、畳縁の柄の種類が多くなったりしているんだ。」

「おじいちゃん、おじいちゃんから日本の伝統を受け継ぎ、次の世代に必ず伝えていきます。今、畳作りと同じように、日本の伝統を受け継ぐ人が少なくなっているそうです。日本の伝統が少しずつ消えてしまうことは、日本が日本でなくなるような気がします。それは、とても寂しいことだと思います。そうならないためにも、ぼくたちが、古くから伝えられている文化に目を向け、日本の伝統を守り続けていこうとすることは、とても大切なことだと思います。」

「おじいちゃん、おじいちゃんから日本の伝統を受け継ぎ、次の世代に必ず伝えていきます。今、畳作りと同じように、日本の伝統を受け継ぐ人が少なくなっているそうです。日本の伝統が少しずつ消えてしまうことは、日本が日本でなくなるような気がします。それは、とても寂しいことだと思います。そうならないためにも、ぼくたちが、古くから伝えられている文化に目を向け、日本の伝統を守り続けていこうとすることは、とても大切なことだと思います。」

「おじいちゃん、おじいちゃんから日本の伝統を受け継ぎ、次の世代に必ず伝えていきます。今、畳作りと同じように、日本の伝統を受け継ぐ人が少なくなっているそうです。日本の伝統が少しずつ消えてしまうことは、日本が日本でなくなるような気がします。それは、とても寂しいことだと思います。そうならないためにも、ぼくたちが、古くから伝えられている文化に目を向け、日本の伝統を守り続けていこうとすることは、とても大切なことだと思います。」

「おじいちゃん、おじいちゃんから日本の伝統を受け継ぎ、次の世代に必ず伝えていきます。今、畳作りと同じように、日本の伝統を受け継ぐ人が少なくなっているそうです。日本の伝統が少しずつ消えてしまうことは、日本が日本でなくなるような気がします。それは、とても寂しいことだと思います。そうならないためにも、ぼくたちが、古くから伝えられている文化に目を向け、日本の伝統を守り続けていこうとすることは、とても大切なことだと思います。」

「おじいちゃん、おじいちゃんから日本の伝統を受け継ぎ、次の世代に必ず伝えていきます。今、畳作りと同じように、日本の伝統を受け継ぐ人が少なくなっているそうです。日本の伝統が少しずつ消えてしまうことは、日本が日本でなくなるような気がします。それは、とても寂しいことだと思います。そうならないためにも、ぼくたちが、古くから伝えられている文化に目を向け、日本の伝統を守り続けていこうとすることは、とても大切なことだと思います。」

審査委員長（教育長）の講評

最優秀賞3人の皆さんおめでとう。優秀賞15人の皆さんの努力を讃えます。発表内容は、自然環境・体験と夢や希望・いじめ問題・人権・社会問題などバランスよく、しかも、しっかりとした論旨で表現力、態度ともに優れたものでした。

中でも、生命を尊ぶ心、思いやりの心、感謝の心、夢や希望に向かっての強い意志など皆さんの豊かな感性に触れ深く感銘を受けました。

本年度の少年の主張大会も質の高い素晴らしい大会となりました。

「おじいちゃん、おじいちゃんから日本の伝統を受け継ぎ、次の世代に必ず伝えていきます。今、畳作りと同じように、日本の伝統を受け継ぐ人が少なくなっているそうです。日本の伝統が少しずつ消えてしまうことは、日本が日本でなくなるような気がします。それは、とても寂しいことだと思います。そうならないためにも、ぼくたちが、古くから伝えられている文化に目を向け、日本の伝統を守り続けていこうとすることは、とても大切なことだと思います。」

◎6年生の部 最優秀賞

私の夢



やまもとみさき
山本美咲さん
(古月小学校)

※主張を終えて…みなさんのおかげで最優秀賞をとれたのでとても感謝しています。

私

が生まれ育ったのは、山口県の山陽小野田市というところです。でも、今は家族と離れ、この鞍手町で暮らしています。

理由は、私の夢を実現するためです。

私の夢はバレーボールでオリンピックに出場し、金メダルを取ることです。

私は1年生のころから、山口県の小学生バレーボールのチームに入って、練習や試合を重ねてきました。

しかし、その女子チームがなくなることになり、困っていたところ、チームの監督が、小学生バレーの中でも強いという定評のある福岡県の鞍手町のチームに入ることを勧め

てくださいました。

家族と離れて暮らさなくてはいけません。私は鞍手のチームに入ることを強く望みました。

父や母も私の夢を実現するために賛成してくれました。

そこで5年生の3学期から古月小学校に転校してきて、鞍手のチームに入るようになったのです。

みなさんは、この夏のロンドンオリンピックをご覧になりましたか。

サッカーや水泳など感動的な試合がいろいろありました。みなさんはどれが一番印象に残っていますか。

私はもちろん、28年ぶりに日本が銅メダルを獲得した女

子バレーボールです。

苦しいときにはアタックで点を取る迫田選手や、どんな体勢からでも確実なトスをあげる竹下選手、フェイントも強打も拾いまくる佐野選手の3人は、私の憧れの選手です。特に竹下選手と佐野選手は、身長が低いけれど、世界で活躍しているので、私が目標とする選手です。

私は、今年もいろいろな大会に出場しました。京都府で行われた西日本選抜大会や宮崎県で行われた九州俳遊会などで優勝し、賞状やトロフィーもたくさんもらいました。でも、全日本バレーボール小学生大会の県大会では決勝で負けてしまい、全国大会の夢はかきませんでした。

しかし、私たちは福岡県で準優勝だったので、九州大会には出場できました。

他の県のチームに勝って優勝することを目標に頑張りましたが、準決勝で沖縄のチームに負けてしまい、九州大会は3位という結果でした。悔しくて、涙が止まりませんでした。

でも、試合には負けてしまいました。大会の役員の方から「準決勝が、一番いい試合だったよ。」と声をかけて

もらったことが、うれしかったです。

会場で応援してくれた母も「他のチームより体は小さかったけど、よく頑張ったね。」とほめてくれました。

この大会を終えて、どんなときでも、みんなで心一つにして一生懸命にボールを追いかけて、最後まであきらめないことが大切なんだと実感しました。

バレーボールは、絶対に一人ではできないスポーツです。

チームのみんなで力を合わせて助け合う気持ちが必要です。

相手のことを考えてレシーブしたり、トスをあげたりしないと、アタッカーがボールを打つことはできません。

そして試合では、必ず勝つという強い信念を持ってプレーすることも大切です。

バレーボールをしていて、苦しいときもあります。チームのみんなや、まわりで支えてくれる人たちがいるから、がんばってこられるのだと思います。

これからもきびしい練習を積み重ねて、みなさんに恩返しができるような素晴らしい選手になりたいと思います。

そして、今年のオリンピック選手のように、世界中の人たちに勇気と感動を与えられるような選手になりたいと思います。



み

なさんはいじめについて、考えたことはありますか。私は、今年の7月に問題になった大津市中学2年生の男子生徒がいじめが原因で自殺した事件をきっかけにいじめについて考えてみました。

大津市の事件ではいろいろな問題がありました。

まず、教師の無責任な言動と行動です。この事件についての新聞やニュースを見てみると、いじめられていた男子生徒に対し、教師が「そんなのはどうでもいい。君が我慢すれば丸く収まる」などという言動をしたと書いてありました。私は、それを知ったとき、ものすごく悲しくなりました。なぜ助けを求めている生徒の相談を学校側は深刻に受け止めず、解決しようとしなかったのか、なぜその事実を隠そうとしたのか、私にはどうしても理解できませんでした。

もう一つの問題は加害者の行き過ぎたいじめです。思いやり胸、おなか、顔を殴るなどそれは信じられないほどの悪質ないじめです。他にも口の中にハチやカエル、すずめの死骸を入れられるなど、男子生徒は数えきれないほどの

いじめを受けていました。加害者生徒は、なぜそのようなことをしたのでしょうか。もし私が、同じようにいじめられていたとしたならば、絶対に耐えることはできないと思います。

いじめについて私たちが考えるべきこととは何でしょうか。残念ながらいじめは現在の日本で問題になっており、おそらく、簡単になくなるものではないと思います。です。おとなが「勇気をだしていじめつ子と戦わなければ何も変わらない。」と無責任な発言をしたり軽く考えたり、解決策を考えないということが多く起こっているのが現実です。いじめをなくすためにやるべきこととは、相手の気持ちを考え思いやり、優しい子になるために、叱るべきときは本気で叱ってくれるおとなが必要だと思います。

「良いことは良い、悪いことは悪い。」とはつきり教育し、いじめについて本気で考え一緒に悩んでくれるおとなが周りにいれば被害者を自殺に追い込むほどのひどいいじめは、なくなるのではないのでしょうか。

次に、私が考えたのは、いじめられている人でもなく、い

じめている人でもなく、いじめをただじっと見ている人のことについてです。たとえば、自分の仲の良い友だちがいじめの被害を受けているとしたら、あなたはどうしますか。「自分は巻き込まれたくないから。」と言って見て見ぬふりをするか、「いじめなんておかしい。」と加害者に自分の意見を伝え、いじめを止めるのか、私はいじめを止める人がたくさんいた方がいいと思います。ですが、誰もがそんな勇気を持っているとは限りません。なので、黙ってみている人が多くいることも仕方ないことでしょう。今まで私もそうだったのかもしれない。

しかし、そのままでも良いとも思いません。自分が被害に遭わなければ、それでよいのでしょうか。助けを求めている人を無視してもよいのでしょうか。

幼いころに両親から学んだ「自分がされて嫌なことは、人にしない。」本当にその通りだと思えます。あなたの周りに、もし嫌な思いをして苦しんでいる人がいて、あなたの一言で、行動で、イジメが止まったとすれば、その人にとってきつとあなたは一生忘れられない人になると思いま

す。今回の大津市の事件でも、もし勇気を出して被害者の男子生徒にだけか一人でも手をさしのべることでできていたら、自殺しなかったのかもかもしれません。相手の気持ちに少しでも寄り添うことができない人がいたら、自殺という最悪の事態にはならなかったでしょう。

最後に、私がいじめについて考え、思ったことは、いじめは人の身体だけでなく心も傷つけるものだから、なくならしてもらいたいと心から願うことであり、また、もしそのような場面に遭遇したのなら、まず頼りになる大人に相談していろいろな立場から、解決策を見つけることが大切

●中学生の部 最優秀賞

今あなたに伝えたいこと

だということ。私たちが人間一人ひとりがいじめについて学習し、理解して、人を思いやる気持ちを持ち、みんなが真剣にいじめについて考えることがいじめをなくすための一歩になるのではないのでしょうか。

もし、私がいじめを目撃したなら、いじめられている人に声をかけ、一緒に悩み解決するために何をすればよいかを考えたいと思いました。私一人では何もできないかもしれませんが、いじめられている人の心の支えに少しでもなればと思います。



きたしまめぐみ
北島真愛さん

(鞍手北中学校3年)

※主張を終えて…今回は、最優秀賞をとれて本当にうれしく思っています。練習に付き合ってくれた先生や友だちに感謝しています。